

2月17日(金)平成17年度熊本県農業コンクール表彰

熊本県庁で、熊本県農業コンクール入賞者の表彰式があり、菊池市で活躍している2つの個人と1つの団体が3部門で入賞しました。

この大会は、熊本の農業や農村社会の振興・発展に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域づくりに貢献している優秀な農業経営者・組織などを表彰するものです。表彰者は、次のとおりです。

新人王部門・優良賞 松岡 真さん・美香さん

就農と同時に4Hクラブに加入し、4Hクラブ会長・全国農業青年交換大会副運営委員長を歴任するなど、リーダーとして組織活動の活性化に努められています。

また、地元市野瀬集落で果樹後継者勉強会を立ち上げるなど、リーダーシップをとり、互いに優れた経営者になれるよう努力した活動が認められました。

組織部門・特別賞 旭志中央支所コントラクター利用組合 代表者 大野辰己さん

平成8年に設立され、輸入飼料依存から地域の安全な飼料づくりを目指し、大型機械を導入し負担の多い作付けから収穫作業や不耕起播種の作業を請負い、利用率も年々増加して現在の請負面積は、400haになりました。畜産農家からの信頼も厚い組織です。

地域貢献賞 宮崎裕子さん

泗水町の生活研究グループ会長として、農産加工分野の女性起業にリーダーシップを発揮し、地域活性化に大きく貢献されました。また、旧泗水町農業委員時代に生活研究グループの後押しを受け、学校給食の安全で安心な地域農産物活用に尽力され、現在の地産地消をいち早く推進されました。



新人王部門・優良賞 松岡 真さん



組織部門・特別賞 旭志中央支所コントラクター利用組合代表者 大野辰己さん



地域貢献賞 宮崎裕子さん

2月16日(木)泗水町生活研究グループ加工部「おてもやん」が熊本県賞を受賞

泗水町生活研究グループ加工部「おてもやん」が、いきいきシニア活動部門で熊本県賞を受賞し、全国大会への推薦を受けました。

おてもやんのメンバーは15人で、昭和63年から農村の生活改善を推進し、地域行事に地元の農産物を活用した郷土料理を紹介してきました。

メンバーは、泗水町特産物センターの一角が加工場として提供されたことで、加工技術・衛生管理・流通・販売戦略などの研修を重ね、地元の安全で安心な農林産物を活用した加工品を、創意工夫でレベルアップを図り、消費者のニーズに応えた商品造りに携わってきました。

また、会長である宮崎さんが農業委員をしていたおり、子どもたちへ安全で新鮮な地域農産物を提供したいとの思いから、学校給食へ地域で栽培した農産物を納入した活動が現在の地産地消に波及しています。このような活動が今回認められて、受賞となりました。



熊本県賞を受賞したおてもやんのメンバー

2月24日(金)熊本県警察逮捕術大会で菊池警察署がダブル優勝

熊本市総合体育館であった、平成17年度熊本県警察逮捕術大会で、菊池警察署が13警察署が参加する第二部で優勝しました。また、15人が参加した女子個人戦でも交通課の宮崎友美さんが優勝を果たしました。

大会は、警察官の逮捕術技術の向上を図るため、毎年この時期に開催されているもので、同署では、この大会に向け約1カ月前から激しい練習を積み重ねていました。

監督の木村係長は「市民を守る警察は強くなければならないという気持ちで練習に励みました。まさにチームワークの勝利だと思います」と話されました。



熊本県警察逮捕術大会で、ダブル優勝した菊池警察署の署員

2月10日(金)菊池市青少年フォーラム

菊池北中学校で、青少年フォーラムが菊池北中学校立志式と併せてあり、2年生の生徒110人が参加しました。

体育館で行われた立志式では、東隆正校長先生から将来について考えることの意義について話があり、その後の意見発表では、生徒代表者2人が将来に向けての決意を発表しました。

また、式終了後には場所を教室に移して、各種団体(保護司会、更生保護女性会、青少年アドバイザー、社会教育委員会、青少年育成推進員)から参加した協力者30人を交えての意見交換会も行われました。緊張のためなかなかうまく話せなかった生徒もいたものの、将来の夢や希望を自分なりにまとめた意見を発表しました。

各種団体から参加した協力者30人を交えてあつた意見交換会



2月15日(水) わらび学園でAEDの使用法講習会

菊池市重味の知的障害者更生施設わらび学園に、AED(自動体外式除細動器)が2月から1台設置され、同学園の職員が、菊池広域連合北消防署の救急隊員2人から使用方法などの講習を受けました。

隊員が機械の特徴や使用する際の注意点を機械を動かしながら詳しく説明し、続いて職員数人が実際に人形にAEDの電極パッドをはったり、作動させたりして注意点などを確かめました。

AEDが福祉施設に導入されたのは県内でも珍しく、同園職員の北村聡一郎さんは「最寄りの消防署からこの施設まで救急車到着に約25分かかるとのことから導入となりました。今後は近くのゴルフ場やキャンプ場、民家からも要請があれば対応していきたいです」と話されました。



人形を使って、AEDの使用法を学ぶわらび学園の職員たち

2月12日(日) 第32回郡市対抗熊日駅伝大会

郡市対抗熊日駅伝大会があり、菊池郡市チームが優勝しました。本渡市役所をスタートし、熊本市上通町のびぶれす熊日会館前をフィニッシュとする、全14区間105.3キロで、熊本県内の郡市21チームが健脚を競いました。

菊池郡市は、5時間23分32秒で2位と2分3秒差をつけて、2年ぶり5度目の優勝を飾りました。

菊池市からも5区で泗水中2年の工藤皓平選手、11区で旭志中3年の大塚宗之郎選手、13区で泗水中3年古荘雄麻選手が出場し、優勝につながるすばらしい走りを行いました。

上位の結果は、次の通りです。

- 優勝 菊池郡市 5時間23分32秒
- 準優勝 熊本市 5時間25分35秒
- 第3位 上益城郡 5時間26分04秒

2年ぶり5度目の優勝を飾った、菊池郡市チーム



2月19日(日) 第16回菊池市民駅伝大会(菊池総合支所館内)

菊池市中央グラウンドを主会場に、菊池市民駅伝がありました。

大会は、旧菊池市の校区対抗駅伝として中央グラウンドをスタートし、遊蛇口区を折り返すコースで、今年で16回目を迎えました。小学生から社会人まで8人で編成され、各選手とも校区の代表として、すばらしい健脚を披露しました。

上位の結果は、次のとおりです。

- 優勝 花房地区
- 準優勝 菊之池地区
- 第3位 隈府1区

中央グラウンドをスタートする参加者

